

(一八四一)
天保十二年十一月 緑野郡高山村の村役人削減願い (B)

乍レ恐以ニ書付ニ奉ニ願上ニ候

当御知行所上州緑埜郡高山村惣役人井「小前一同、篤与評談之上
一同奉ニ願上ニ候趣意者、私共「村方之儀、先前家数百六拾軒程有
之候節者、「村役相勤候もの共茂、凡九人位迄者有レ之候得共、「当
時者追々潰・退転等茂出来、此節漸家数「六拾軒余有レ之、左候
得者先年通之振合ニ而ハ、「村方一統難涉之趣ニ付、今般村役人と
も井ニ「小前百姓一統申談之上、自今者名主老入・」組頭三人・
百姓代老入与相定メ申度、尤村役人」之内人数相減し候迎、「
御地頭所様御用向等之儀ニ付候而者、為「聊とも御不弁理御差支
ニ相成不レ申様、第一「此儀專要ニ取極候儀ニ御座候、且名主役老
入・」組頭役三人之もの共者、今般是又一同衆「評」之上、躰レ実・
廉直之人物を見立入札ニ仕、「多札ニ相当り候者を以、村役人四
人与相定メ」申度趣、議定取極仕度、依レ之村役人・小前」一同
遂ニ示談ニ候通、相違無ニ御座ニ候ニ付、村中」一同連印を以奉ニ願上ニ
候間、何卒以ニ「御慈悲、前頭之通趣意柄聞召被レ為レ」訳、此
段御聞濟被ニ成下置ニ候ハ、一村往々共「平和ニ相治、難レ有仕合
奉レ存候間、幾重ニも」御聞濟奉ニ願上ニ候、以上

御知行所

上州緑埜郡高山村

百姓

福松印

千代松印

与四郎印

天保十二年

十一月

(後略)